

## ニュース速報：三木博史会員 | IGS賞に輝く

IGS幹事 赤木俊允

3月27日IGS総会前の15:30よりアトランタ市のINFORUM講堂において、IGS賞の授賞式が行われ、5件のIGS賞と一件の奨励賞 (Young IGS Member Achievement Award) が授与された。この中で三木博史会員 (建設省土木研究所) が単独受賞したIGS賞は、「ジオシンセティックス補強盛土の補強メカニズムの評価」と題する研究に対するもので、受賞理由には次のように記載されている。

「高含水比の粘性土を含む種々の土の中に埋設されたジオシンセティックスの補強メカニズムの評価に対するもの。本研究は、ジオシンセティックスの引張り強度特性を利用する盛土斜面および基礎構造物の補強、更にはジオシンセティックスの排水性を加味した盛土斜面の補強、を検討している。解析手法は、実物大の試験結果に基づいている。」

他のIGS賞の受賞者とその対象となった研究テーマは、おおよそ次の通りである。a) Richard Bathurst and Zhenqi Cai 「ジオシンセティックス補強構造物の地震時における解析、設計、挙動に関する研究」 b) R. Jonathan Fannin 「ジオシンセティックスを用い土を補強する設計法についての貢献」 c) T. Ingold, C. Jenner, C. R. Lawson and B. Myles 「強化あるいは補強した土および盛土に対する英国施工基準の開発」 d) R. F. Wilson-Fahly, D. Narejo, and R. M. Koerner 「ジオメンブレンの破裂防止策に関する貢献」。奨励賞は、Scott Merry 「ジオシンセティックスの多軸引張り試験の改良」で、この賞は将来性のある優れた研究成果を挙げた35歳以下のIGS会員に対して与えられる。

今回の表彰委は、G. Raymond教授 (カナダ) を委員長とし、S. Corbet (英)、J. Paul (英)、Y. Rogbeck (スウェーデン)、W. Wilmers (独) の4人を委員として構成された。14件の応募を審査し、本年1月ロンドンで委員会を開いて最終決定に至った。次回のIGS賞選考は、1995年から1999年までの期間に発表される研究成果を対象とすることになっている。IGSとしては自薦、他薦で多くの応募があることを願っている。



ウィルマー表彰委員から  
IGS賞を手渡された  
三木博史会員 (左)